

# 石川町 議会だより

No. 214

令和4年 8月1日

発行 石川町議会  
編集 石川町議会  
広報常任委員会



## 2022 6月 定例会

写真 旧中ニハでゼラウサウンドゴルフを楽しむ中田地区の皆さん

P2 6月定例会 審議結果

P4 紙上中継(委員会)

P5 6月定例会 一般質問(町政をただす)

P13 あれからどうなった?(一般質問のその後は)

# 国民健康 保険税決まる

## 6月 定例会

令和4年度の国保税は、被保険者の負担軽減のため、前年度の決算剰余金見込み額の全額を充当し、さらに、国民健康保険財政調整基金から1,800万円を繰り入れて算定しました。

### ◆医療分基礎課税額

医療機関にかかったときの医療費等の給付費用に充てるための財源として納めるもの。

区分	3年度	4年度	比較	
所得割	7.21%	7.28%	0.07%	
均等割	18,870円	20,760円	1,890円	
平等割	一般世帯	15,720円	15,120円	▲600円
	特定世帯	7,860円	7,560円	▲300円
	特定継続世帯	11,790円	11,340円	▲450円

### ◆後期高齢者支援金課税額

75歳以上の医療保険である後期高齢者医療制度を支援するため、その医療費等の財源の一部として納めるもの。

区分	3年度	4年度	比較	
所得割	2.53%	2.55%	0.02%	
均等割	6,620円	7,280円	660円	
平等割	一般世帯	5,510円	5,300円	▲210円
	特定世帯	2,755円	2,650円	▲105円
	特定継続世帯	4,132円	3,975円	▲157円

### ◆介護納付金課税額

介護保険制度の財源として、40歳以上65歳未満の加入者（介護保険第2号被保険者）が納めるもの。

区分	3年度	4年度	比較
所得割	2.14%	2.28%	0.14%
均等割	7,120円	8,440円	1,320円
平等割	4,390円	4,550円	160円

※所得割：加入者の所得に応じて課税します。

※均等割：加入者1人につき、定額で課税します。

※平等割：加入者数に係わりなく、1世帯につき、定額で課税します。

6月定例会は6月2日から9日までの8日間の会期で開かれ、専決処分1件、条例案件8件、補正予算1件、規約改正1件、契約締結1件、請願2件、議員発議2件の合計16件を審議しました。

一般質問には、8人の議員が登壇し、町政を問いました。また、野木沢小学校児童6年生18人を含む71人の傍聴がありました。

# 議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案・請願・発議	審議結果	
議案 第37号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度石川町一般会計補正予算-第1号）	承認	全員
議案 第38号	石川町老人デイサービスセンター条例を廃止する条例	原案可決	全員
議案 第39号	石川町議会議員及び石川町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員
議案 第40号	石川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員
議案 第41号	石川町税条例等の一部を改正する条例	原案可決	全員
議案 第42号	平成23年3月11日東北地方太平洋沖地震による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員
議案 第43号	石川町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員
議案 第44号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員
議案 第45号	令和4年度石川町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	全員
議案 第46号	石川町地方町村障害児就学指導審議会共同設置規約の一部を改正する規約	原案可決	全員
議案 第47号	石川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全員
議案 第48号	新石川町立歴史民俗資料館展示設計製作業務委託契約の締結について	原案可決	全員
請願 第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書	採択	全員
請願 第3号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採択	全員
発議 第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決	全員
発議 第5号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	原案可決	全員



## 自治功労表彰

福島県町  
村議会議員  
会から、町

議会議員として11年  
以上在職の関根信次  
議員が表彰されまし  
た。

長年の功績が認め  
られ、6月定例会の  
最終日に草野議長が  
伝達表彰し、同僚議  
員から祝福の拍手が  
送られました。

## 一般会計補正予算 の主なもの

新型コロナウイルス  
感染拡大に伴う経済対  
策として、地域応援券  
発行事業に3644万  
1千円、温泉利用割引  
事業に1969万7千  
円、原油価格・物価高

騰に伴う取り組みとし  
て、農業経営改善支援  
事業に500万円、町  
内交通事業者車両維持  
補助金に273万円、  
国の経済対策として実  
施する住民税非課税世  
帯等に対する臨時特別  
給付金に3523万円  
低所得子育て世帯生活  
支援特別給付金に69  
0万2千円などを増額  
するものです。

地域応援券(プレミ  
アム付き商品券)発  
行決まる

# 紙 上 中 継

## 委員会審査



### 予算審査特別委員会

#### 中小企業等事業継続緊急支援事業予算について

コロナ禍が続く中、飲食店を中心とした様々な事業者が苦境に陥っています。

その対策として、お客様が増え、事業が継続できるように支援していく予算を決定しました。

国のコロナ対策交付金を活用  
 総額5613万8千円

#### 事業内容

- ① 町内事業者応援券事業（4回目）プレミアム券
  - ② 温泉利用割引券事業（4回目）町民割
- 3644万1千円  
 1969万7千円

**Q** これまでの効果は。

**A** プレミアム券

事業実施回数4回で、総販売額2億8107

万3千円が町内の店舗で使用され、消費喚起になりました。

予約先	電話番号	予約受付時間	休業日	受付方法
大島	0247-56-3186	9:30-17:00	日・祝	電話・来店
クリスタル旅行	0247-26-2290	10:00-18:00	日・祝	電話・来店
福島の観光バス(福島県)	0247-26-2151	8:50-17:40	※2・4・5・日・祝	電話・来店
野本観光バス	0247-26-3900	9:30-18:00	土・日・祝	電話・来店

**意見** 町内の商業発展につながる施策を考えてほしい。

#### 「買い物」需要に対応するミニバスサービス実証実験について

**Q** 事業内容は。

**A** 買い物物時の移動手段確保と、外出機

会の創出を目的に個人のご自宅からメカステージ石川までの乗合バスを運行します。AI運行システムを活用し、予約者の戸口から商業施設までを予約状況に応じた効率的なルートで送迎します。

**Q** 実証実験の実施地区は。

**A** 中谷、山橋、沢田、野木沢、母畑の5地区を予定しています。

**Q** 需要はあるか。

また、来年度以降の予定は。

**A** 多くの方に利用していただけるような仕組みで実施したいと考えています。本事業は今年度限りの実証実験として行うもので、ニーズを把握し、来年度以降の事業を検討します。



▶ミニバスのイメージ

# 健康で長生きすることは、町民すべての願いです。町の取り組みは

## A 健康寿命の延伸につながる各種事業を実施しています



きくちみちお 議員  
菊池美知男

◆健康長寿への取り組みについて

**質問** 運動を日常的に取り入れ習慣づけるための推進について。

**答弁** 5つの運動教室を対象者、運動強度などを変えて年間を通して実施し、自分に合った教室に参加していただき、運動習慣を習得するきっかけ作りに取り組んでいます。

**質問** 食事のバランスや塩分制限等の啓発や奨励について。

**答弁** 食生活改善推進



▲毎週水曜日に勤労青少年ホームで開催している運動教室

委員による各地区での健康・減塩メニューの伝達講習会や、おいしく減塩できる料理の紹介に取り組んでいます。

**質問** 飲酒、禁煙習慣の抑止策について。

**答弁** 総合検診会場での保健指導や、健康リスクについての周知広報を行っています。

**意見** 本町の第6次総合計画の中では「自分の健康は、自分で守る」と冒頭に記載されています。

それは必要なことで

あるが、行政が積極的に住民の健康作りに関与して、健康長寿の番付を下位から常に上位にした自治体もある。行政の力も含めて健康長寿の町を目指していただきたい。

◆災害に強い町づくりについて

**質問** 令和元年東日本台風を受け、町民の皆様は、非常に不安に思っている。そこで、被害の復旧状況や今後の整備計画について。

**答弁** 令和2年度に堀田川、令和3年度は福田川、金田川、渡里沢川の一部で浚渫工事を実施し、今年度も渡里沢川、飛鳥川などで実施し、事前防災に努めます。

県が管理する河川では、令和2年度に今出川と飛鳥川の合流地点、令和3年度は社川の深

谷地内で堆砂除去が実施され、今年度は北須川の北町地内及び松木下地内の一部で工事が発注され、また、県のシミュレーションでは、千五沢ダムの改修工事後は、令和元年度程度の水害に対しては、十分対応できると伺っています。

今後、計画的に、早期に実施されるよう強く要望してまいります。

◆マイナンバーカード制度について

**意見** マイナンバーカードを持つことによる個人情報漏えいの心配や、それが無くても不便を感じないという調査結果がある。これが国の事業であったとしても、カードの必要性や不安払拭については、町でも丁寧な広報に努めるなどの対応をしていただきたい。

# Q 公共施設や町道歩道等のバリアフリー化の取り組みは

## A 社会生活の中で利用する施設等のバリアフリー環境を推進しています



ふじしま かずひろ  
藤島 一浩 議員

◆障がい者に優しいまちづくりについて

**質問** これまでの取り組みについて。

**答弁** 平成25年に「石川町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例」を制定し、歩道の段差解消や勾配の修繕、歩車道が共有する道路では、側溝を蓋つぎに改修するなど整備してきたところです。また、文教複合施設モトガツコにエレベーターや多目的トイレの設置、自治センターのスロープの修繕、野木沢小学校のトイレの一

部を多目的用にするなど、バリアフリー化を推進してきたところで

**質問** 障がい者のための避難所について。

**答弁** 体育館や各自治センターを一般避難所として、また、介護施設や福祉施設を要配慮者のための避難所としてあらかじめ指定しています。一般避難所においては、設備や環境に不十分などところもあることから整備を図っていきます。また、電源喪失時の非常用電源の設備調達についても整備を進めます。

**質問** 避難所における障がい者等の対応について。

**答弁** 介助や介護が必要な方には、保健師による巡回相談や指導のほか、必要に応じ介護ボランティアやヘルパ

ーの派遣を行います。

**質問** 窓口での手話対応について。

**答弁** これまでは手話ができる職員や筆談による対応でしたが、本年度から「遠隔手話通

訳サービス」を利用することになりました。このサービスは、委託先の通訳者とリモート接続をし、タブレット端末を利用して、手話や文字通訳が利用できるものです。



▲障がい者専用駐車場とスロープがある総合体育館

# Q ドクターヘリポートの設置は

## A 7月下旬に供用開始



おぎ よしろう  
小木 芳郎 議員

◆塩田町政、4年の成果について

**質問** 町民との対話の日について。

**答弁** これまで94名の皆様から、142件の貴重なご意見をいただきました。ご意見ご提言は、各種施策に活用させていただいています。

**質問** 道の駅について。

**答弁** 令和3年9月に公民連携手法の基本計画を示し、地域活性化拠点となる道の駅とするため、令和5年度から設計、造成、建築を進め、令和7年度中の

開業を目指しています。

**質問** 若者向けマイホーム一戸建て土地固定資産税相当額の5年間補助について。

**答弁** 令和2年度は1件、令和3年度は9件の補助金を交付しました。

**質問** 子供向け予防接種の無料化について。

**答弁** 「季節性インフルエンザ」ワクチンは1歳から高校生まで1回目を無料に、「おたふくかぜ」は無料接種できる医療機関が増え、接種する子供も増加しています。子育て支援策の一つとして、接種費用の助成を継続していきます。

**質問** 町内企業の育成と雇用の拡大について。

**答弁** 企業の育成強化を図るため「石川町中小企業・小規模企業振

興基本条例」を制定し、施策推進体制の強化を図りました。また、大字中野地内の工場跡地は、企業誘致が実現し、さらに藤沢工業団地に立地した企業も操業を開始しました。

**質問** 次期町政運営について。

**答弁** 町民の皆様のご理解とご支援が得られるならば、町民福祉の向上のため、全力で町民の皆様の負託に応えていく考えであります。

◆農業振興について

**質問** 持続可能な農業支援策について。

**答弁** 検討チームを創設し、持続可能な農業支援策を検討していきます。

**質問** 農業専門員の活動について。

**答弁** 巡回等による栽培技術指導や営農相談、経営改善計画書等の作成支援など農業者に寄り添ったきめ細かな対応をしていきます。



▲ドクターヘリ用臨時離着陸場の様子(字渡里沢地内6月撮影)(上)、里山の景観を守るため花植えをする板橋長寿会(西組班)の皆さん(下)

# Q 道の駅建設は、再検討すべき

## A 再検討の考えはありません



わたなべ みのる 議員  
渡辺 実

**質問** 道の駅の目的と効果について。

**答弁** 地域産業の活性化や町内外の人の交流で地域活力を向上させることです。

**質問** 農業の振興にどう結びつけるのか。

**答弁** 販売額を伸ばすことです。今後、出荷組織をつくり、所得の向上を図ります。

**質問** 農業者の高齢化に対応した、長期的な農産物の出荷計画について。

**答弁** 農業者の育

成や確保に努め、認定農業者、各団体と協議し、出荷体制を検討します。

**質問** 農協や商工会との話し合いについて。

**答弁** 行っていないです。

**質問** 道の駅の目玉を何にするのか。

**答弁** 運営予定者と協議し、検討します。

**質問** 建設予定地は。

**答弁** 敷地の魅力度、法的な制約条件、造成費等を検討し、大橋地内を選定しました。

**質問** 事業費と財源は。

**答弁** 総事業費10億円で、国の交付金2・6億円、過疎債5・4億円、一般起債2億円で

**質問** 須賀川市、玉川村、石川町に道の駅ができ、集客が見込めるのか。

町民の多くが期待していない、地域産業振興の効果が見えない、目玉が決まっていないことから、再検討すべきである。

**答弁** 再検討の考えはありません。

**質問** ◆川井橋の災害復旧について  
流失した橋

は復旧できないのか。

**答弁** 復旧には、単独で1億5千万円必要であり、事業費を捻出できません。

**質問** 川井橋復旧計画について。

**答弁** 県との協議で、復旧する条件が厳しい状況です。

**質問** 地元への説明は。

**答弁** 令和4年2月に、県との協議内容等を説明しました。

**質問** 町が県に陳情した、その内容について。

**答弁** 令和3年度に、王子平地区の信号機から国道118号線を結ぶ、新たな連絡道路の建設を陳情しました。

**質問** 実現の見込みについて。

**答弁** 強く要望していきます。



▲道の駅用地利用図（案）



# Q 学校統合による通学支援ではなく、子育て支援としての通学支援を行う考えは

## A 前向きに検討していきたいと思います



いぬい はつみ 乾 初美 議員

◆次期町政運営について

**質問** 徹底した少子化対策と子育て支援策について。

**答弁** 1期4年間で13の新規事業を行ってきましたが、5年度以降は、もっと思い切った施策の充実を図っていきます。

**質問** 今後も子供に関連する予算をしっかりと確保していく、さらには増やしていく考えは。

**答弁** さらに予算化して、進めていきたいと考えています。

**質問** 令和2年度に教育課へ「こども係」を設置した目的について。

**答弁** 小・中学校、保育所、幼稚園を一体としてとらえ、連携して進めていくためです。

**質問** 設置から3年目を迎え、成果について。

**答弁** 順調ですが、さらに検証していきます。

**意見** 十分な予算の確保と専門性の高い職員の配置が必要である。さらに対応力のある教育課となるよう体制を整えていくことが重要である。

◆定住人口増施策と移住への取り組みについて

**質問** 「仕事に関する



▲子育て支援としてのスクールバス事業を！

**答弁** 今年度中に、インターネット等を活用し、情報発信体制をつくる必要があると考えています。

**質問** 空き家などを活用した「移住体験住宅」の整備について。

**答弁** 検討段階にはなっていないませんが、本町での生活体験がないIターン・Jターンの方が、宿泊しながら生活や体験ができる施設は必要だと考えています。

**不安** という課題解決の手段について。

**答弁** 住居の情報、就業場の情報など町の暮らしが実感できる情報を発信していきます。

**質問** 石川町の魅力やここでのライフスタイルの情報発信について。

**意見** 移住定住政策の充実で、地元を離れた方に戻ってきてもらい、徹底した子育て支援で、本町で子育てしたいと思ってもらえるようなまちづくりが必要だと考える。

# Q 本町のごみのリサイクル率は

## A 9%前後で管内町村に比べ低い数値で推移しています



せや きょうこ 議員  
瀬谷 京子

◆今年度から10年間の一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について

**質問** 目的達成のための具体的方策について。

**答弁** 1つ目は、3Rの一層の推進で、発生抑制・再利用・再生利用再資源化の推進を図ります。

2つ目は、適正なごみの分別・排出の推進と不法投棄対策です。

3つ目は、社会環境変化への対応で、ごみ排出困難者への対応や災害廃棄物対策等を図ります。

**質問** 本町のごみ処理

の現状について。

**答弁** ごみ排出量は、家庭系・事業系合わせ、平成30年度が4943トン、令和元年度が4856トン、2年度が4764トンと、人口減少の影響もあり年々減少傾向ですが、1人1日当たりのごみ排出量は増加傾向にあります。

**質問** 福島県はごみの排出量、リサイクル率ともに全国ワースト2位です。本町は県内59市町村中、1人1日当たりの排出量が35番目に多く、リサイクル率は23番目に低い。

**答弁** 分別が適正でないことが要因と分析しています。

**質問** 現在の17品目の分別方法が20年経過し



▲ゴミが歩道にあふれている街中のゴミステーション

て住民の意識の希薄さもあるのでは。

各種教室や団体、組単位等で研修会やクリンセンターの見学会をして意識の高揚を。  
**答弁** 周知方法を工夫して啓蒙活動をしていきます。

**質問** 生ごみの堆肥化や布製品を資源にするなど分別区分の見直しの考えについて。

**答弁** 見直しは考えていません。

**質問** ごみステーション設置に補助金の制度化と高齢者等のごみ出し支援制度の考えについて。

**答弁** 地域自治協議会等と連携し検討します。

**質問** 食品ロス対策について。

**答弁** 食材の使い切り、食べ切り、ごみ捨て前の水切りを行う3切り運動の推進、普及啓発に取り組みます。

◆空き地、空き家対策について

**質問** 令和3年3月に締結した古民家・空き家活用に向けた包括的連携協定の内容と古民家の定義について。

**答弁** 町内に点在する空き家の再生、再利用の観点から、問題の解決方法について連携を図るものです。

築50年以上経過し、日本の伝統的な建築工法で建てられたものとされ、本町には約千棟存在しています。

# Q 本町に高齢化率50%以上の地区はあるのか

## A 本年5月1日住民基本台帳で、2地区を確認した



せや としかず  
瀬谷 寿一 議員

◆急激な過疎化への対策について

**質問** 過疎化の現状について。

**答弁** この5年間で高齢化率は3・2%増加し、人口は966人減少しました。

離農の増加、林業の低迷で農地、山林は、荒廃が進んでいます。

空き家は、令和3年度末420件で、6年間で約100棟増加しました。

町道は延長418kmのうち、未舗装が約92kmで、山間部は、狭隘な道路が多く、通行に支障をきたしています。

**質問** 町道の改良率が50%と低い。待避所などの工夫が必要だ。

**答弁** 待避所の整備は有効な手段として考えられます。

**質問** 森林環境税の路網整備事業による山間部の道路整備について。

**答弁** 木材搬出道路を森林再生事業等で整備しています。3m幅までは、路網整備でできます。

**質問** 過疎化で、今後、共同墓地では、墓地放置が問題となるが。

**答弁** まずは、共同墓地の管理業務に係る規定などを区長にお知らせし、今後、対応を図りたいと思います。

**質問** 半農半Xの推進など移住施策について。

**答弁** 地方や農業の活性化につながる取り組みの一つと考えられる

ことから、就農希望者が安心して移住・定住できるように支援していきます。

**質問** 町としての取り組みについて。

**答弁** 就農希望者が、安心して移住・定住できるように、研修経費や農地賃借料、農業機械・施設のリース料や住宅賃借料を助成する町の新規就農者経営確立支援事業の活用を促進していきます。

**質問** 里山の維持、再生に国県の森林環境税の活用について。

**答弁** SDGs目標15の実現に向け、県森林環境税を活用した小中生の森林体験学習を行っています。また、森林の多面的機能、森林の果たす役割をより深める取り組みを行いたいと思います。

◆中学校部活動の今後のあり方について

**質問** スポーツ庁が示す学校部活動の地域移行の取り組みについて。

**答弁** 全国町村教育長会の検討結果を確認後、関係機関、関係団体と協議を行いたいと思います。

**質問** 「学校と地域が協働・融合した部活」には、指導者と共に施設の整備も必要だ。財源の確保を。

**答弁** 次年度以降、予算確保に努めたいと思います。



▲石川中学校運動施設(校庭、野球場、テニスコート)外部指導者導入で管理しやすい施設の整備を

# Q 元気高齢者を増やしていく取り組みは

## A 高齢者運動サロンを展開し、閉じこもり予防や転倒予防に取り組める環境整備を進めています



せきね しんじ 議員  
関根 信次

◆生活困窮世帯に対する支援について

【質問】生活困窮世帯の把握について。

【答弁】民生児童委員が1年に一度、受持ち地区の高齢者世帯、ひとり親世帯、生活困窮世帯の調査や関係機関からの情報提供などにより把握しています。

【質問】生活困窮世帯への支援策について。

【答弁】令和3年度に「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」事業として、対象となる世帯の児童1人当たり

5万円の給付、「子育て世帯への臨時特別給付金」事業では、18歳以下の子供がいる子育て世帯を対象に子供1人当たり10万円の現金給付、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業では、世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯及び家計急変世帯へ1世帯あたり10万円を給付しました。

【意見】行政は、窓口で対応するだけではなく、地域との連携が大事であり、待ちの姿勢ではなく、より積極的に支援を届けるという伴走型の施策を進めることが大事である。

◆元気高齢者を増やす取り組みについて

【質問】各地区の高齢者地域サロンの現状と課題について。

【答弁】現在40か所のサロンがあり、町はサロンの継続的な運営を支援するため、専門職の派遣や運動用具の貸出しなどを行っています。

しかし、最近は参加者の高齢化が進み、サロンの場所まで自力で通うことができない方が増えていきます。

【質問】運営の充実を図るための支援策について。

【答弁】これまで厚意で対応いただいた送迎支援者の不安を解決する方策や独居高齢者でも



▲運動や交流を楽しむ活動の場となっている高齢者サロン

通える新たな外出手段を検討していきます。

【意見】地域の方々の協力を得ながら、高齢者の送迎に対する支援として、実費弁償等も検討する必要があるのではないかと。

あれからどうなった？

## 一般質問のその後は

令和3年6月  
定例会より

### 森林環境税の用途について

●本町の森林環境税事業の取り組み状況について

●令和3年度事業において、森林の土地所有者や



▲中田十字・山田地内路網整備事業  
W=3m、L=500m

林地境界に関する情報などを一元管理している

「林地台帳システム」のデータ更新作業を行いました。

また、町内の森林を適切に管理していくため、町内の森林所有者を対象に今後の森林経営や管理などの意向調査の実施に向け準備を進めています。

●**基幹路網の整備について**

●路網整備は、森林の整

備・保全を適切に実施するとともに、林業の生産性向上を図るには、大変重要なものであると認識しています。

路網の整備にあたっては、関係機関の指導を仰ぎながら、森林の整備促進を図られるよう慎重に検討していきます。

### 県立石川高等学校 高校魅力化推進事業

令和5年度、創立百周年を迎える県立石川高校。少子高齢化の影響で、令和6年度から募集定員削減による1クラス化が予定されています。

●**町の支援内容は**

●県立石川高校の存続に向け、町の魅力化を図り、PRすることを目的に、コーディネーターを設置しました。コーディネーターとして活動するのは、一般社団法人「未来の準備室」の増成育恵さんで、委嘱状交付式が町役場で行われました。



▲町長から委嘱を受けた増成さん

# 未来に向かつて

・ 高校生の声

県立石川高校

3年 鈴木

啓仁けいと

## 将来に向けて



私は高校卒業後、製造業に就職することを希望しています。製造業を通して間接的に人の役に立つことが私の夢です。そのために、これまでとは意識を変えて高校生活を送っています。

私は石川高校独自の科目である「キャリアチャレンジ」という授業を選択しています。この授業では週に一回、

企業で実際に仕事を体験することができ、現在は接客業を体験しています。お客様と接する機会が多いことから、就職してから必要なコミュニケーション力をつけることになり、勉強になります。また、部活動にも力を入れて取り組んでいます。私は



▲一生懸命練習に励んできた野球

野球部に所属しており、副キャプテンをしています。プレーヤーは十名という少ない人数ですが、夏の大会に向けて部員全員が一生懸命練習に励んできました。副キャプテンの立場でチームを支えてきたので、最後の大会で力を出し切れるよう精一杯プレーしていきたいと思っています。

残りの学校生活は部活動や進路活動で忙し

くなりますが、卒業してから夢を叶えることができるよう、これまで学んできたことを生かして頑張っていきたいと思います。

### 編集後記

新型コロナの次は、ロシアの侵攻。ちよつと暗いニュースばかりですね。石川町の皆さん、少し辛抱しましょうか。

藤島一浩

議会を傍聴しませんか  
9月定例会「一般質問」は  
10月3日(月)の  
予定です。

## 議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを経由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらのQRコードからアクセスできます。



議会広報  
常任委員会

委員長	菊池美知男
副委員長	乾 初美
委員	藤島 一浩
委員	根本 重泰
委員	瀬谷 寿一
委員	増子美知夫

